

中華人民共和国の小学語文

小 川 寿 一

本稿は倉石武四郎先生校訂「小学語文」により取材した。小学語文の一語は現代の中華人民共和国の国語教科書の意である。

日本での義務教育と言はれる中学程度のもは語文そのもので語句、語法、文法を評述したものが私の手許にある。

中華人民共和国は世界各国の注視を集めている国家であり、私は「小学語文」を透して中華人民共和国の国語教材を分析して見たいのである。

倉石先生の「小学語文」は計八冊の中、第七巻が欠けている。然しその七冊を入手出来たのは貴重な教科書である。中国（以下中華人民共和国）が、教育関係、ことに小中学課程の教材が域外に移出することを禁止しているのか、その理由の判断にこまるが、多分この種の教材は尚検討すべき点を残していると考へているのかと推察するより外はない。

倉石先生の校訂された「小学語文」は中国の原文と発音をローマ字綴りの所謂「拼音」で印刷され、上記七冊より題目を取捨されて百二十三課に印刷されてある。

日本の小学校国語読本の最初は「のりこさん」「はい」の応対用語から始まっている。

中国では、

- | | | | | |
|--------------|-------------|-----|------|-------|
| 毛主席 | 労働者 | 農民 | 米 | メリケン粉 |
| 稻 | 棉花 | 布地 | 着物 | 汽車 |
| 飛行機 | 汽船 | 朝 | 起床 | 着物を着る |
| 手 | 顔 | 目 | 耳 | 犬 |
| 猫 | 鶏 | あひる | 前方の羊 | 後方の犬 |
| たんぼの
三頭の牛 | 三頭の馬 | 学校 | 先生 | 同級生 |
| 教室 | 黒板 | 机 | 腰掛 | 私の鞆 |
| 私の
教科書 | 始業 | 勉強 | 字を書く | 歌を歌う |
| 終業 | ブランコ
に乗る | 縄とび | | |
- 子供の生活環境に近い動物で猫が五回、犬と羊が四回、狐と狼が四回出ているのは意外であり、鶏、熊、兎が三回である、上述の狐、狼、熊が比較的多く、豚とあひるの少いのが予想外である。
- 次に植物関係の教材では
- 三粒の豆
 - 桃の花
 - 日まわりの種まき
 - 麦の収穫
 - 野菜売り
 - 野菜畑
 - 熊婆さんと野采
 - 小さな樹

- 森林老人
- 一粒の種
- 朝顔の蕾
- 豆の旅行
- 天候、自然を内容と教材にしたものでは
- 小さい舟
- 大雪
- 雪だるまへ問う
- 坊やは好い子だ
- 小雨
- 北京
- メーデー
- 四季の神さま
- 初冬
- 冬婆さんの怒り
- 雷雨
- 朝の輝き
- 太陽と虹
- 四つの希望
- 夏は去りぬ
- 秋の晨
- 池
- 雪嬢ちゃん
- 春
- 掘抜井戸
- 次に民俗慣習と謎、俚諺を、とり入れた教材は
- 白いブクちゃん
- 新年の飾り絵
- 謎
- 謎
- 祝賀花火
- 毛主席は吾等のあるじ
- 仲秋節の宵
- 二つの靴
- 寒入り九九の歌
- 清明節と穀雨
- 謎
- 謎
- 俚諺
- 鵝蚌の争い
- 待ちぼうけ

以上十五課中に謎、俚諺教材が1/5の五課も挿入されている。日常生活に関する教材を拾ってみると、

- 放課
- 学級当番
- 君の仕方はよい
- 小さな馬車
- 布子を縫う
- 私たちの教室
- 棟上げ
- お婆ちゃん
- 金色の竹
- 麦の収穫
- 私達は毛主席のよい子に
なろう
- 毛主席の小さい時
- 解放前の農民
- 司馬温公の幼時
- 野火の消火
- 叔父さんお収め下さい
- 小英は後悔した
- 夜学
- 一番好い事は何か
- 公園
- 授業の始まり
- 縄とび
- 狼が出た
- 大きな大根
- 先生が僕等を見送って
- 小鈴と小紅
- 矢張り人間は偉い
- 水を飲んで苦勞を偲ぶ
- 笑話
- 私は去年よりさらに楽しい
- 解放前の労働者
- 小萃
- 毛主席の看劇
- 速や耳
- 私はお母さん思い
- こうする方がよい
- お母さんに捧ぐ
- 毛主席は規則を守る

生活関係の教材は全体の三割以上に及び、中でも毛主席に連なる教材が殊更に多いのに注目したい。そこで単語の毛主席はさて置き現代中国の人人が絶対に神聖者とする毛主席に関連する教材を拾い上げて拙訳を附加した。

○年画

新年快到了。有一天、大成和小菊跟着爸爸上書店去。書店裡年画很多、花花綠綠的、好看得很。他們這兒站下來看看、那兒站下來看看、爸爸說：線們要買哪張、自己挑罷：挑來挑去、大成挑了張〃和平鴿〃他說：買回家去我還要照着画呢：小菊挑了張〃給毛主席拜年〃上面画着一群小学生給毛主席拜年、毛主席看着他們笑、小菊說：〃爸爸、你看、毛主席多愛小孩子啊〃

新年が間近いある日、大成君と小菊さんはお父さんと一緒に本屋へ行きました。書店には新年の飾絵が、ずらり美しくならんでいました。彼等はあちこちと美しい絵を手にとって、じっと見とれていました。お父さんは「お前達、自分で好きなものを探さない」と仰言ったので、大成君は「平和の鴿」をとり上げ、「家に帰ったら僕もこの通り画きたいな」と云っており、小菊さんは「毛主席の年始」を一枚買って貰いました。絵には沢山な小学生が毛主席に年始の挨拶をしているのを、毛主席が見てにっこり頬笑んでいます。「お父さん御覧なさい、毛主席が小学生を可愛がっておられる、にっこりとなさっている顔がすばらしいではありませんかと云っていただきます。」

○我們的教室真好啊!!

毛主席的像掛在牆上。我們一進教室、就看見毛主席的像、教室裡的桌子、椅子很乾淨、擺得很整齊、窗子很大、教室裡很亮。窓台上放

着四盆花、又香又好看。我希望我們的教室。我喜歡我們的學校。

僕等の教室はほんに美しい。毛主席の絵が教室の壁に掲げてあり、誰でも教室へ入るとすぐ毛主席の絵が目に入る。教室の机、椅子も清潔で、きちんと並んでいる。窓が大きいので教室が大そう明るい。窓わくの上に四つ植木鉢の花がおいである。僕は僕等の教室が大すきである。僕は僕等の学校が大すきだ。

○金竹子(註) 節兒密。

砍根竹子当馬騎。

騎到南來騎到北、

騎到東來騎到西。

還要騎到北京去、

去見咱們毛主席。

金色の竹、節が近くて美しい

一本筏って、竹馬遊び

(註) 金竹子 広東省産の竹、金色の竹

南から北へ

東から西へ

北京までとんで行って

毛主席に会いたいな。

○毛主席住在北京。

北京很大、很美、

天安門就在北京城裡、紅牆、紅瓦、又高大、又美麗、門前五座白石橋、橋的前面是廣場。北京的街道很寬。電車、汽車、自行車、來來往往、像穿梭一樣。站在高處一看、到處都是樹。整個北京城、就像一片綠的海、北京多美啊!!我們真愛北京!!

毛主席是北京に居られる。

北京は、すばらしく大きく、大層美しい町、
天安門は北京にある。赤色の壁に黄金色の瓦、ずば抜けて大きく、大変美しい。

天安門の前に五つの大理石の橋が架って、その前が広場になっている。道路の幅がうんと広く、電車、自動車、自転車が行きかうさまは、まるで梭の織りなすような賑はひ。

高い所に登って町を見下すと、どこ迄も一面に樹が茂って、北京全体がまるで緑の海。

なんと美しい北京。私は北京がすきた。

○五一節

今天是一一節、我跟着爸爸去遊行。

天安門廣場上人山人海、到處是紅旗、到處是鮮花。我跟爸爸並排走。我挺着胸、邁開大步、一边走、一喊喊口號。

到天安門前面了。爸爸把我抱起來。讓我坐在他肩上。我看見毛主席了。毛主席就在天安門上。我搖着小旗、大喊：毛主席萬歲!!毛主席萬歲!!

中華人民共和國の小学語文

毛主席不停的招手。毛主席一定看見我了。我們走過天安門很遠了、還回過頭去看毛主席。

メーデー

今日のメーデーに僕はお父さんと一緒に行進に参加した。

天安門廣場はまるで人の海で、何処も彼処も赤旗と花の渦がまいている。僕はお父さんと肩を張り大足に行進しながらスローガンを叫んだ。天安門廣場にや々と着いた。お父さんは僕を抱き上げ、肩車に乗せてくれた。

天安門に毛主席が立って居られるのが見える、僕は小旗を振り振り大声で「毛主席萬歲!!毛主席萬歲!!」と叫んだ。

毛主席は、たゆまず手を振っておられる、毛主席はきっと僕を見つけたのだ。僕は天安門をずっと通り過ぎてからも、何度となく振り返って毛主席を見た。

○吃水不忘開井人

瑞金城外有個小村子、叫砂洲壩、毛主席在那兒住過。村子裡沒有井、吃水要到村子外邊兒的小河裡去挑、路很遠。毛主席就帶着村子裡的人開了一口井。

解放了、砂洲壩的人在井的傍邊兒立了一塊木牌、上面写着：吃水不忘開井人：時刻想念毛主席。

水を飲んで井戸掘りの労苦を偲べ(註一)

瑞金(註二)城外にある砂洲壩という処は、以前毛主席が住んで居られた処である。

〔註一〕 中国の俚諺、報恩反始の譬へである。

〔註二〕 江西省贛南道にある、国民党政權時期に、この地で毛沢東が共產党のソベト地区を作り、蔣介石、毛沢東の反目はこの頃より激しくなった。

部落には井戸がないので、村から離れた小川へ水を汲みに行くより仕方なく、遠い道のりを水を運ぶことに苦勞していた。毛主席は村の人たちを説いて井戸を掘ることにした。

解放（註三）してから砂洲壩の人人はその井戸の傍に「水を飲んで井戸掘りの苦勞を偲べ」と認めた木柱を建てて、毛主席の恩を忘れてはならぬと考へた。〔註三〕一九四九年十月一日

○打麦〔註〕

Pi Pi Pai!! Pi Pi Pai!! 大家来打麦。麦子好、麦子多、磨麵

做饅饅。

馍馍白、饅饅香、従前地主吃、現在自己嘗感謝毛主席!! 感謝共產党!!

麦打ち

ピ ピ パイ!! ピ ピ パイ!! さあ皆で麦打ち

麦はよい上、多くとれた。粉にしたら饅頭にしよう

饅頭は白くて、しかもおいしい。いま迄は地主だけ食べていたが、今は自分のもの。

〔註〕一九四九年十月一日、中華人民共和国建国と比べて毛主席にお礼を言おう。共產党に感謝したものだ。

○我們要傲毛主席的好孩子

我們快滿八歲了。大家還叫我們「小孩子」可是我們說完了一年級、已經學到了不少知識。我們學會了讀書你聽：新的棉花、新的布；我們學會了算術、你看!! 七加八等於十五。我們學會了唱歌、你聽!! hei la la la, hei la la la : 我們學會了圖画、你看!! 一隻公鷄 一朵大紅花。我們要陞二年級了、我們感謝我們的老師。我們一步一步向前進、我們要傲毛主席的好孩子。

私達は毛主席の好い子になろう

私達は間もなく八才になる。皆の者が「子供」と私達を呼ぶけれども、一年はもう終った。これ迄に多くのことを習った。国語では新しい棉花、新しい布。算術も教はった。七たす八は十五、私達は唱歌も習った。ヘイ ラ ラ ラ、ヘイ ラ ラ、私達は図画も習った。御覽、一羽の雄どり、大輪の赤い花、私達は間もなく二年生になる。私達は私達の先生に感謝する。私達は一步一步前進して、毛主席のよい子になりたい。

○毛主席小時候兒怎樣學習

毛主席小時候兒就很喜歡學習。他八歲上的學。老師一開頭就教他誦經書。那些經書都是很難懂的、可是他還是聽老師的話、把那些書誦完。他自己還借了些小說來誦。「西遊記」啊「水滸伝」啊「三國演義」啊、那裡頭都是些很有趣的故事、他全誦過。到了十三歲、他就跟着爸爸勞動不再上學了。白天他在地裡幹活兒、一休息就拿出

書來読。晚上他帮爸爸记完賬ノ就在菜油灯下讀書写字。碰到好事、他總不肯放手一口气把它說完了。他整整勞動了三年、也整整學習了三年。三年裡頭他說了許多書

只要他們鄉裡淺得到的書、他都淺了說了。讀過的書、有的他記了筆記、有的他還能背下、毛主席小時候兒就是這樣認真學習的。

毛主席の幼少時代の学習

毛主席は幼少時代、學問することが好きであつた。彼は八才で就學した。先生は彼に經書の手引きをした。多くの經書はみな難解のものばかりであつた。然し彼は、先生の仰言つた通り、それ等の經書をことごとく読み終へた。又時としては小説を見つけると、浸るように読破した。「西遊記」とか「水滸伝」とか、はた又「三国演義」等等、その中には面白い物語が沢山書いてある。十三才になると、彼は父と一緒に労働をした、学校は止めて、日中の彼は田んぼで精出して働いた。仕事の休みの間に本を開いて読み、夜は父の手伝の帳簿の計算をした、菜種油の許で、読書や習字練習をし、何か面白い記載の箇所が見つかる、と、むさぼる様に、一気に読み終へた。彼は丸三年労働につき、三年間勉強しつづけた。その三年の中に、彼は夥しい本を読んだ。郷里で手に入る本ものならば、どんな手だてもして読み、讀書して或る部分はノートに書き留め、或るものはその文章を全部暗誦した。

毛主席の幼少時代はこの様に真剣に學問に精進したのであつた。

○國慶（註一）

中華人民共和国の小学語文

一九四九年十月一日、天安門昇起五色紅旗（註二）毛主席向全世界宣布：中華人民共和国成立；中国共產党領導人民、趕走了帝國主義、消滅了反動勢力、大踏步走向社會主義。

／＼轟隆隆／＼／＼轟隆隆／ 開國典禮的砲聲驚天動地。還有千萬人的歡呼／＼萬歲共產党／ 萬歲毛主席／ 年年國慶節、我們小孩子也舉起紅旗、拿我們最好的成績、向毛主席報喜。

一九四九年十月一日、天安門に五星紅旗が掲げられた。毛主席は中華人民共和国成立したことを厳かに全世界に宣言した。

中国共產党は人民をひきいて、帝國主義者を国外へ追い出し、反動勢力を駆逐して力強く社會主義國家に進むことを宣言した。

ゴウドン、ゴウドン、建國節の礼砲は天地を震はしている。そこには何千何百万人のどよめき、共產党万才、毛主席万歳。

私達小供も赤旗を高くさし上げ、私共の立派な成績を以つて、毛主席に祝賀の氣持を捧げたい

（註一）中華人民共和国の建國節一九四九、一〇、一
（註二）滿地紅色の旗に五個の星を金色で左肩に模様化して中華人民共和国國旗、五星とは中央の共產党を労働者、農民、小ブルジョア民族ブルジョアの四星が囲んだものとしている。

○東方紅

東方紅、太陽陞、中国出了毛沢東。
他為人民謀幸福、他是人民大救星。

毛主席愛人民、他是我們帶路人。
為了建設新中國、領導我們向前進。
共產黨像太陽、照到哪裡哪裡亮。
哪裡有了共產黨、哪裡人民得解放。

東の空は赤色、太陽が降り、中国に毛沢東が出た。彼こそあらゆる人民の幸福を願う救いの神だ。毛主席は人民を愛する指導者だ。新中國建設の爲めに吾等の前進を導いて下さる。

共產黨は太陽の様に、どこにでも光を射る共產黨のあるところ、その人民は圧迫から解放せられる。

○毛主席惦记着我們

孩子你聽!!時鐘正打了十二点、首都北京城裡、毛主席正在迎接新年。他惦记着全国人民!!大人和小孩兒、老人和青年。他一心希望!!大家都過快樂的新年、大家都有更幸福的明天。

子供達よ、今丁度十二時が鳴った。首都北京では毛主席が新年を迎へているのだよ。彼は全国、津津浦浦の人々の事を念じつつ、大人も小供も皆が楽しい年を迎へ、多くの人々が更に幸福な明日を迎へる様に願つて居られる。

○毛主席在戲院裡

有一次、一個劇団在延安演戲。戲院裡坐滿了人。快開幕的時候兒、有個人員在台上說、「毛主席也要來看戲、請坐在前邊兒的人讓出一個坐位來。坐在前邊的人聽說毛主席要來、都站起來、想把自己

的坐位讓給毛主席。

其来毛主席已經來了。他看見前邊沒有坐位、就在後邊我個空位子上坐下了。這時候兒他看見大家給他讓坐位、就站起來說「大家還是坐原来的坐位罷一動秩序就乱了」大家一定要讓毛主席坐到前邊來。毛主席看大家不肯坐下、就走到前邊去、坐在一個小朋友的坐位上。毛主席把那小朋友抱起來、讓他坐在腿上。開幕了、毛主席跟那個小朋友一塊兒看戲。

或る時、劇団が延安で開演しようとした時のこと、劇場内は人で一杯で身動き出来ぬ程の際、開幕の前に劇場側で一人が演壇で「毛主席が看劇にお出でになるから前の方の坐席を一つ空けて呉れないか」と言ったので、前方に坐席にいた者は毛主席が来られるならば、皆の者が立ち上つて席を空けようとした。

ところが、毛主席はとつとに到着されていた。彼は前方に席がないので、後方の空席に腰掛けていた。この時彼は皆の者が彼に席を譲ろうとしているので、彼は立ち上り「皆さん矢張り今迄の席に戻り下さい。動き始めると場内の秩序が乱れます」と言いましたが「皆がどうしても前方に御出でになる様に言いますので、仕方なく前の方に出て、或る子供の席に座をとり、その子供を抱いて膝の上に乗せ、毛主席とその子供は一緒に看劇したのです。

○慶祝國慶

國慶節前一天、我們學校開會慶祝國慶、農業社の広場上、南辺搭着一座松柏牌樓、北辺搭着一座講台講台上掛着兩面國旗、中間是毛

主席の像、講台前辺擺着各種顏色的菊花。

參加慶祝會的人陸陸續統的來了。同學們都穿得又整齊又乾淨。少先隊員的紅領巾、女同學頭上的胡蝶結、在陽光裡格外鮮明。老師穿着新衣服。校長也來了。他們跟我們一起慶祝國慶、還要看我們的表演。下午兩點鐘、慶祝會開始、大家唱國歌。今天唱歌的人特別多、歌聲特別響亮。校長先講話、他鼓勵我們聽毛主席的話、做到身體好、學習好、工作好。農業社主任接着講話、他說咱們合作社今年增產、小學生也出了不少力。趙老師給我們講了井崗山的故事。他告訴我們、今天的幸福生活、是經過許多艱苦的鬪爭才取得的。

陳立的爸爸參加過解放戰爭、校長請他講了一個解放戰爭的故事。接着表演開始了。有合唱、有舞蹈、有詩歌朗誦。最後、我們班表演小歌劇、果園老人、散會的時候兒天快黑了。

建國節の前日、私共の學校では建國節祝賀會をした。農協広場の南側に松と杉でアーチを作り、北側に演壇を設け、国旗二面を掲げ、中央には毛主席の像、演台の前方には色とりどりの菊が飾ってある。

祝賀會には、ぞろぞろと沢山人々が集って来た。学友たちも清いな着物を着ており、ボーイスカウトの赤のネッカチーフ、女生徒の髪飾りの蝶結びが陽の光に輝いて殊更美しい。先生方も皆新しい服を着ていらつしやる、校長先生の藍色の制服に金色の先進工作者章が輝いている。父兄の方も沢山お出になって、一緒に建國節を祝い、併せて私達の演芸を見ようとしていられるのです。

午後二時祝賀式が開始され、国歌の合唱は人が多いせいで、歌声

中華人民共和国の小学語文

は長々と、いつまでもこたえました。

校長先生の講話では、私達が毛主席の要望に答へて、身体を健康に、學習を完全に仕事を完全にやれ、と訓されました。農協の主任は、吾が農協で今年度の増産に、小學生が多大の貢獻をして呉れたと称へられた。

趙先生は井岡山(註)の話をされた。先生の云はれる通り、私の今の幸福な生活は、多くの困難な鬪争によつて勝ちとつたものだと、詳しく説明されました。

(註)江西省長沙の南に在り、解放戰爭の初期、蒋介石の国民党軍と共産軍との数度の斗争のあつた処。

陳立のお父さんは同じ解放戰爭に参加した歴戦の勇士です。校長先生は彼に經驗談を話させました。引き続き演芸が始まりました。

合唱や舞蹈、詩歌の朗誦等が終つてから私共のクラスが果樹園の老人を演じました。

散會の時には陽がとっぷり暮れて、暗くなつていました。

○毛主席遵守制度的故事

毛主席在延安的時候兒、有一天、到中央醫院去看閔向忠同志。

閔向忠同志在病床上躺着、毛主席跟他親切的握手、就坐在病床前邊、兩個人輕輕的談起話來了。忽然閔帘掀起、進來一個年輕的護士。她一看床邊有人、就說「同志、对不起、醫生吩咐過、閔政委須要靜養、不能多說話」毛主席轉過身、笑了笑說「啊、对不起、我不知道醫生有这么吩咐」。說着連忙站起来、安慰了閔向忠同志幾句、就走出去了。

在護士辦公室裡、毛主席又碰到剛才那個護士。〃小同志、你叫甚麼名字？多大啦？〃人家都叫我小刘、十六刘、請坐碰同志〃

毛主席細細的問過病人的情況、又親切的对小刘兒說、〃小同志你要好好照看閔政委〃

毛主席走後、小刘兒回到閔向応同志的病房。他一進來、閔向応同志就笑了、說、〃小刘兒、你知道剛才來的是誰嗎？〃不知道。外頭有個警衛員、反正是首長、不管是誰、醫生要你靜養、我就不能讓他擾亂你〃〃對、可是刘不知道他就是毛主席罷？〃

乱、毛主席!!小刘兒睜大眼睛喊起來。以後、她逢人就講、毛主席怎麼樣和藹、怎麼樣遵守醫院的制度。

毛主席が延安に居た頃の或る日、中央医院へ閔向応同志を見舞に行つた。閔向応同志を見舞に行つた。閔向応同志は病床に横たはつたままで、毛主席と固い握手をした後、ベッドの前に腰掛けて、二人は静かに話し始めていた。

ところが、そつとカーテンをくぐつて一人の若い看護婦が入つて来た。ベッドの傍に居る人を見るや「貴下、すみませんが医者の方の注意で閔政委委員は是非とも静養する様にと、命じられています、長話は遠慮して下さい」

毛主席は振り返つて頬笑み乍ら「ああ済みませんでした。私はお医者さんの言付けのあつたことも知らず」と、慌て立ち上がり、閔向応に、ゆつくり静養する様にと言葉を残して出て行きました。

看護婦詰所で、毛主席は今先きの看護婦にパツタリ出会いました。

「貴女は名前は何とお呼びするのですか、お年は幾つになられました？」

「人々は私を小刘と呼んでいます。十六才になりました。どうぞお掛け下さい」

毛主席はあれこれと病状について尋ね、「貴女、どうぞ閔政委委員の病気の世話をよろしくお頼みしますよ」と、言葉を残して帰つた。

毛主席が帰つてから、小刘は閔向応同志の病室へ行つた。彼女が入つて来ると、閔向応同志は笑ひ乍ら、「小刘兒、貴女は今先き此処へいらつしやつたのは誰だか知っている？」「存じません、でも警備員がいたですから、どうせ何処かの頭でしょう、誰であつても、先生から安静を命じていられるのです、誰だつて貴下の安静を乱すことは許せません」「その通りだ、が然し、貴女はあの人がよもや毛主席であろうとは判らなかつたんだろう」

あつ!!毛主席!!小刘兒は大きく眼をあげたまま開いた口が閉がりません。

それからは彼女は逢う人毎に、毛主席と云う方がどんなに物腰軟く、規則をよく守られる方だと讚めたたへて居ります。

毛主席と並んで重視されている人民公社の教材を拾つて見よう。

○人民公社像太陽

我們公社的土地上、

田野寬闊像海洋、

拖拉機、來回轉、
打下的糧食推滿倉。

我們公社的土地上、
建起一座鐵工廠、
新農具、自己造、
鉄錘日夜響叮噠。

我們公社的土地上、
彎彎的流水繞村庄、
豆滿棚、瓜滿架、
鷄鴨成群魚滿塘。

人民公社像太陽、
光芒燦爛照四方、
收成一年比一年好、
歡樂的歌声越唱越響亮。

俺たちの人民公社は
田畑は広広、大洋のごと、
何処にもトラクターが動き
取入れた穀物は倉庫に一杯。

俺たちの公社の土地に、

製鉄所が設備されて、
新しい農具も自分で造れる、
ハンマーの響きは夜どうしタンタン。

俺たちの公社の土地に、
うねうねと用水路がめぐって、
豆は一杯、瓜は鈴なり、
鷄鴨はうようよ、魚は池をとび出しそう。

人民公社は太陽の様に、
光はキラキラ遍ねく輝き、
収獲は年々記録を破り、
歓びの歌声は何日まで。

○豊収兒歌

一 收割忙

遠也黄、近也黄、
遍地麦穗翻金浪、
社員們、排成行、
手拿鎌刀收割忙。
紅太陽、火一樣
大家的幹勁比火旺。
一 刈割、一 刈割、
齊唱豐收喜洋洋。

二 千座山

千座山、万座山、
金光閃閃山連山。
太陽公公看見了、
驚得兩眼滴溜圓、
甚麼人、真能幹
搬來千座万座山、
就是咱、就是咱
人民公社好社員。

一 豐作の歌

遠くも近くもみな黄色、
何処も麦の穂こがねの波。
社員達は列を作って、

鎌を手に手に取入れに。
真赤な太陽は火と燃へて。
刈りとり乍ら、歌い乍ら、
皆の力も火と燃える、
皆で豐作の歌を、喜はとはに。

二 幾千の山山

千の山、万の山、

黄金はキラキラ山又山に、
太陽さんも御覧になろう、
目に涙うかべて驚かれよう、
誰が一番働き手か考へてみよう、
千の山々、万の山々、
それが俺たち、この俺たちよ、
人民公社の働き者たち。

○公社弁工廠

社裡弁起発電廠、
発電機器轟轟響、
推磨車水不用牛、
家家戸戸電燈亮。

農具工廠平地起、
城裡送来新機器。
機器転動快如飛
造出鉄犁一大批。

社社修建化肥廠、
多造肥料多打糧、
要破水稻万斤関、
不准禾苗再發黃。

人民公社の工場

公社内に発電所、

モーターは轟轟と、

粉挽きも、吸上ポンプも牛は使はぬ、

あちらこちらの家に電灯がともる。

農具工場が創設されて、

町から新機械が運ばれて、

機械の動きは飛ぶ様に、

作った犁は山のよう。

どの社も、どの社も化学肥料工場、

うんと肥料をやって収獲を上げよう。

米産一萬斤のレコードを破りたい

作物の青枯れにも気をくばろう。

(以上)